

石川島記念病院 事務IT 菅家 宏之

功 績 病院機能変更に伴い電子カルテ内の変更・修正をトラブルなくできたこと、また院内研修におけるIT関連からの支援をして頂いたことで、研修をスムーズに開催できました。また、研修内容を動画で録画することにより、多くの職員が視聴できるようにした功績。

推 薦 者 丸山 恭子

推 薦 理 由 一人きりのIT担当者でありながら、病院の中を把握し、職員が困ることがないように常に気配り対応している姿は、職業人として素晴らしいと思いました。病院機能を変更するにあたり、電子カルテは診療上の生命線です。その病院機能変更による診療への支障を来すことなく、診療がおこなえていること、また、看護部の研修支援を側面からして頂き、すべての人が研修を受けることができる環境づくりをした功績により推薦いたします。

内 容

菅家さんは、石川島記念病院のIT関連を一手に引き受けています。他部署からの多くのトラブルに関していつも嫌な顔せず丁寧に対応してくれる姿は、職業人としての鏡であると思っています。

今回、コロナ病院機能変更に伴い、電子カルテ内のオーダー関連を始めとして診療報酬関連などを短期間に修正し、問題なく診療を行えるようにしました。医事課の診療報酬は、これまでの包括的診療報酬から出来高診療報酬に変更することで、トラブルをないようにしなければなりません。なぜなら、診療報酬は、病院経営の根幹を成すからです。さらに、看護部の研修支援をして頂きました。

10月から感染者が激減したことで、普段、業務中に行うことが難しい院内研修を企画致しました。その際に、どのような方法で開催することが研修の充実を図ることが出来、また、多くの職員が参加できる方法とはどのようなものかについて検討して頂きました。

職員の教育は、医療の質をあげるためには、欠かせないものです。教育の1つの方法として研修がありますが、研修の内容、開催時期、対象者のレディネスなどを考え企画しなければ、実のある研修にすることはできません。また、1回だけで理解できない場合に、理解出来るまで何度でも繰り返し視聴できるようにアイパッドで動画撮影をし、電子カルテ内に作成したフォルダをあげれば、いつでもどこでも閲覧できるようにして頂きました。現代ではITに精通している人であれば、特段取り立てることでもないかもしれません。

しかし、看護部の業務は、IT化が進んでいるわけでもなく、ITに詳しいスタッフが揃っているわけでもありません。そのような状況下にあることを菅家さんは把握し、看護部に研修時にアイパッドで動画撮影することができれば、誰でもいつでも見れるようにすることができるとのアドバイスを頂きました。さっそく先生方に講師を依頼した研修を動画撮影をしたのち、電子カルテのパソコン内にフォルダを作成して頂き、誰でもいつでも見れる環境づくりに尽力して頂きました。

今回の研修は、医師はもちろんですが、すべての職種の職員に講師をお願い致しました。患者さんの入院がなくなり職員のモチベーションを維持することの困難さを感じますが、入院してくる患者さんに最高の医療を提供していきたいという職員の思いが一つになってきているのではないかと感じています。